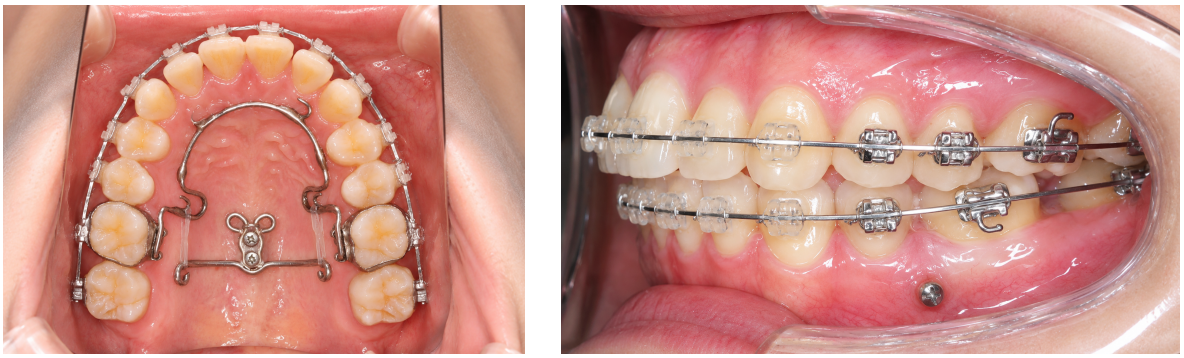
歯科矯正用アンカースクリュー

歯を動かすための一時的な支え

小さなねじを顎の骨に植立し、歯を動かす力の支えにします。ほかの歯の不要な動きを抑えるために使い、役割が終わったら取り除きます。



植立部位の例　左：上あごの内側　右：歯ぐき側

写真：提供写真

01 植立から取り外しまで

歯の根や骨の位置を検査し、局所麻酔をして植立します。ゴムやばねで装置につなぎます。

力をかけ始める時期や使用期間は、担当医に確認してください。

02 植立後の過ごし方

麻酔が効いている間は、唇・頬のかみ傷や熱い物でのやけどに注意してください。指や舌で触る、揺らす、硬い物を当てることは避け、薬は指示どおり使用してください。

03 毎日のお手入れ

小さく柔らかい歯ブラシで、周囲を優しく清掃してください。清掃状態が悪いと炎症やスクリューの脱落が生じ安くなります。強くこすることや、電動歯ブラシを直接当てることは避けてください。必要に応じて洗口剤を使用してください。

04 起こりうることと連絡の目安

植立後に痛み・腫れ、炎症、ねじの緩みや脱落が起こることがあります。緩み、排膿、強くなる痛みや腫れ、止まりにくい出血は早めに連絡してください。

緩んだねじはご自身で締め直さず、担当医に相談してください。

装置や部品がのどに入り、息苦しさや激しいせきがあるときは、直ちに救急受診してください。

© 2026 Ortho & Oral Journal